

2022年7月31日(日) ショートメッセージ「愛されている子ども」

郷 秀男

暗唱聖句: あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。(エフェソ5:1)

今週の聖書教育誌の週題は「愛されている子ども」です。

神さまから「私はあなたをいつも愛おしく見ているよ。」と言われたら私は心の底から嬉しさがこみあげてくるでしょう。でも、それが私自身の勝手な思い込み、願望であつたら虚しいことです。けれども神は私たちに約束してくださっているのです。

私たちは大きな恵みの約束として神から「愛されている子ども」とされるのです。子どもとされたのであれば私たちは神の家族でもあるのです。この神の約束はみ言葉から明らかなのです。

ガラテヤ 4:4~5 しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。それは、律法の支配下にある者を贖い出して、わたしたちを神の子となさるためでした。私たちは神の子どもとされました。

神の贖いによる私たちの救いは、神の愛する独り子イエス・キリストの十字架の犠牲により生まれながらの罪の奴隷から解放されて神の子どもとされることで成し遂げられました。そして、神の子どもとしての特権は、私たちの内に聖霊が共にいてくださるということです。

ロマ 8:14~15 神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。

キリストを信じる皆さんは神の子どもであり、神の家族なのだと言われます。キリストを信じて心に受け入れた人は神の家族の一員とされるのです。そして、皆さんお一人おひとは神から愛されている子どもなのです。

さて、皆さんは神から愛されていると実感する日々を送られておられますか。いや、私は愛されていないのかもしれないと思っておられますか。自分の身の回りで「神さま何故」ということが起きたりすると、自分は愛されていないと思ってしまうかもしれません。

5:2 キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。

キリストが私たちを愛してくださったので私たちは愛を知りました。

だから、パウロは「あなたがたも愛によって歩みなさい。」と言います。愛されていないと思ったとしても、どのようにすればよいかは私たちが受けた聖霊が導いてくださるのです。静かに聖霊の導きを祈るところに歩むべき道が与えられるでしょう。

エフェソの町は州の首都でもあり、商業地として栄えて頹廢的な雰囲気のある町であったでしょう。また、神殿娼婦という悪い慣習もありました。それらは神の家族として受け入れがたいものでした。神の家族になることはこの世と敵対することでもあるのです。それは現代の私たちの住む社会も同じです。

5:1 あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。

先ほどは、神に愛されていないのかもしれないと言いましたが、キリストを信じた人は間違いなく神に愛されているのです。私たちの人生に起きる出来事はすべて神のご計画のなかで愛のなかで起きているのです。いついかなるときもキリストは共におられて私たちをじっと見つめて安心しなさい、恐れるなど励ましてくださるのです。

5:16 時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです。

パウロにはエフェソの異邦人の生活が暗闇のように思えたのでしょう。対してキリスト者の信仰生活は光の中のように語ります。

パウロはエフェソの異邦人クリスチャンの人々にこのように語ります。

5:8 あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい

光は良い霊的な実を結び、光は悪しきものを明らかにします。このキリストの光は罪を告発するものでもあり、また癒しの光でもあるのです。暗闇から解放されてキリストの光の中に置かれたものは等しく聖くされるのです。

5:15 愚かな者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。

賢い者として歩みなさいとパウロは勧めています。

私たちがキリストにある神の家族の一員としての子どもであるならば、神の愛を溢れるほどに受けている恵みに応答する者として、光の子として人生の旅路をキリストと共に賢い知恵をいただき希望をもって歩んで行けるのです。

エフェソの信徒への手紙から示されたことは、私たちの信仰生活は神に愛されるように生きるのではなく、私たちは既に「神に愛されている子ども」として生きていくということです。

5:10 何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。

5:11 実を結ばない暗闇の業に加わらないで、むしろ、それを明るみに出さなさい。

現代の社会においても「暗闇の業」の誘惑に私たちはさらされています。それに惑わされず歩むためには祈りとキリストにある賢さや、それを実践していく意思が必要です。

ひとりではあるいは難しいかもしれないけれども教会には共に祈り、歩む同労者が与えられていることが恵みです。

「光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです」と言われていますが、時として暗闇に迷い込み、**み言葉**に聴くことを忘れ、自分の考えが正しいと自己中心に考えてしまう弱い存在の私たちです。私たちは聖霊の導きを切に祈らねばなりません。神に倣う者としての人生を歩ませていただいていることに喜びが溢れます。

5:19 詩編と賛歌と霊的な歌によって語り合い、主に向かって心からほめ歌いなさい。

5:20 そして、いつも、あらゆることについて、わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。

日々の生活が教会の信仰の友と語り合い、ほめ歌い合い、キリストの名により父なる神に感謝する信仰生活が与えられていることが「神の子ども」の特権であるのです。

● 分かち合い

・あなたには神に守られた、愛されたという体験が何度もあることでしょうか。その恵みを分かち合ってみましょう。

・神の家族としての教会であなたがいちばん恵まれたと思うことはなんですか。



ショートメッセージは、教会ホームページから動画でも視聴できます。

右のQRコードを読み込むか、スマホ・PCからご覧の方は[こちら](#)をクリックしてください。

公開：7月28日（木）～